

野菜の生育状況及び価格見通し（平成26年9月）について
（東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）









（総論）


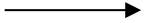
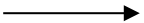


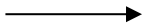
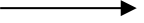
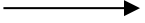
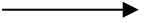
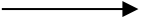
品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん、にんじん)	生育は、概ね順調。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	ねぎの生育が概ね順調であるほかは、全般的に、8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育遅延。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	トマトの生育が概ね順調であるほかは、全般的に、8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育遅延。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも、たまねぎ)	生育は、概ね順調。

ただし、東・西日本において、曇りや雨の日が多く、日照時間が少ないとの予報（平成26年9月1日14時00分 気象庁発表）もなされていることから、今後も日照時間の少ない状況等が続けば、キャベツ等の葉茎菜類、きゅうり等の果菜類など東・西日本を主産県とする品目では、平年を上回る価格が続くことが懸念。

(各論)

品目	主産県 ※()書きは 昨年9月の入 荷シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)	
			9月前半	9月後半
だいこん	北海道(59%) 青森(35%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	北海道(97%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
はくさい	長野(90%) 北海道(5%)	・7月中旬までの長雨の影響による根傷みの影響は解消されつつあるものの、8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、 <u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は</u> 、生育が回復し、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> に回復する見込み。	↗	→
キャベツ	群馬(77%) 岩手(14%)	・7月中旬までの長雨の影響による根傷みの影響が残っており、小玉傾向になっていることに加え、8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、 <u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は</u> 、長雨後に定植したものが出荷の中心となることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> に回復する見込み。	↗	→

ほうれんそう	群馬 (30%) 栃木 (23%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、<u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は、生育が回復し、出荷数量、価格ともに概ね平年並に回復する見込み。</u> ・ ただし、ほうれんそうは、特に<u>降雨や低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目</u>であるため、今後の気象によっては、9月後半も価格は平年を上回る可能性も懸念。 		
ねぎ	青森 (28%) 北海道 (16%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 		
レタス	長野 (85%) 群馬 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月中旬までの長雨の影響による根傷みの影響は解消されつつあるものの、8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、<u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は、生育が回復し、出荷数量、価格ともに概ね平年並に回復する見込み。</u> ・ ただし、レタスは、特に<u>降雨や低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目</u>であるため、今後の気象によっては、9月後半も価格は平年を上回る可能性も懸念。 		
きゅうり	福島 (29%) 群馬 (12%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、<u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は、後続の関東産地からの出荷に切り替わるが、8月中旬以降の日照不足等で生育遅延していること、2月の大雪による栽培用ハウスの倒壊の影響で作付が減少していること等から、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 		

なす	栃木(32%) 茨城(24%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、<u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は、生育が回復し、出荷数量、価格ともに概ね平年並に回復する見込み。</u> 		
トマト	青森(17%) 福島(17%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月上中旬の大雨、日照不足等により一部の東北産地で生育が遅れているものの、他の産地の生育は概ね順調であることから、引き続き、安定した出荷数量が確保され、<u>価格は概ね平年並で推移する見込み。</u> 		
ピーマン	茨城(36%) 岩手(30%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北産地では8月中旬以降の日照不足、平年よりも低い気温により生育が遅れていることから、<u>9月前半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ <u>9月後半は、後続の関東産地の生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに概ね平年並に回復する見込み。</u> 		
ばれいしょ	北海道(94%) 青森(5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 		
さといも	千葉(63%) 宮崎(17%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 		
たまねぎ	北海道(87%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> ・ ただし、海外産たまねぎの輸入動向によっては、価格は平年を上回る可能性。 	